

# 令和2年度 事業計画

社会福祉法人 ウエルネス

経営理念「社会福祉に貢献し地域と共に歩みます」「全職員の物心両面の幸福を追求します」の実現に向け、全社員が取り組む。

## 1、地域への貢献

地域包括支援センターは、地域コミュニティとの連携を深め、「認知症サポーター講座」「徘徊者捜索対応訓練」をはじめとして、地域ぐるみで高齢者、認知症の方の見守り意識を高めていきます。「オレンジカフェ」も地域各町内からの要望にも応え、充実します。また地域の様々な団体と連携を深め、ワンストップ相談所としての機能をより高めます。

特養は、地域在宅介護のセーフティネットとしての役割を担うことはもちろん、「地域の安心のよりどころとしての機能を高めていきます。また生涯を安心して送れる施設として「看取り体制強化」を目指し、今年度中に介護福祉士11名のうち8名の喀痰吸引実務資格者を確保します。(現5名)。

地域貢献活動の「けんこう運動教室」も、地域の元気な高齢者から評価を得て、月2回実施するほか、地域コミュニティとの連携で広範囲に実施することも計画していきます。また、地域住民参加の「観桜会」「夏祭り」も、受け入れ態勢を確保して、地域の方たちと入所者の交流を深めるよう努めていきます。

## 2、健全経営と職員の処遇改善

2021年4月に介護報酬改定が実施されます。国民の人口減少、少子高齢化による介護保険料の増額、個人負担の増額と、コロナ対策特別出資も重なり、介護報酬の減額という基本構造はより強められていきます。

この経営にとっての逆風の中で、「健全経営」と「職員の処遇改善」という命題を解決して行かなければなりません。

### ① 解決策のポイントは、特養においては稼働率の高水準確保です。

そのためには、「眠りスキャン」を筆頭として、利用者の健康管理をICT活用により確実に把握すること、そして早期発見・早期対応をして入院を予防することにあります。相談職、看護職、機能訓練職、介護職の連携体制をより強化し、ICT機器の情報共有ノウハウを具体化していきたいと思えます。

### ② 通所介護は、職員と利用者が理想的に交流できており、利用者職員との共同した

食材買い物、調理、食事、食器洗い等の共同作業による「食事生活リハビリ」を中心に家庭的な生活リハビリが市内のケアマネジャーにも評価されていますが、今後もより充実させていきます。

③ 法人全体として、より質の高いサービスを提供できる体制になりました。

各職種連携の委員会をはじめとして意見交換を活性化し、有効活用していきます。また毎月園長と介護職員との個人面談等を通じて、施設や個人の問題解決の一助としていきます

またキャリアアップ体制の説明を個々に行い、経営への参加意識を高め、各自の仕事に対する重要度を認識し、自覚を持っていただくよう努めます。

研修については、相談員資格、喀痰吸引、介護員アセッサー育成等の研修に積極的派遣を行い、また個々の資格取得補助等により職員全体の実力アップを図ります。またインターネットによる研修システムに加入し、年間研修計画のもとに月1回施設内研修を実施すると共に、各自が自由に学べる環境を作ります。

④ 給食体制の確立

令和2年2月から実施する新体制になりました。調理作業、調理員労務を含めて体制を確立していきます。

⑤ 外国人介護人材の活用

12月ころをめぐりにベトナム人を想定して、外国介護人材を採用します。今後の介護人材確保を考慮すると、現在日本人人材が安定している時に受け入れ態勢を整えていきます。

⑥ 短期・長期借入金の元本返済と修繕積立金

法人全体の利益を確保し、短期・長期の借入金の返済と共に、将来にわたる修繕積立金を確保していきます。

全体を通して、今期も当法人の福祉活動を確実に実行して地域に貢献するとともに、売上げの最大化、経費の最小化を目指し、令和2年度から始める借入金の返済、修繕費積み立てを実行し、職員の処遇改善の体制を実現していきます。